



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月16日  
東

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) サワー ハイコー  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	79,388	△20.8	450	△91.8	1,191	△78.9	325	△91.5
2019年12月期第3四半期	100,296	△4.7	5,520	△23.1	5,640	△28.6	3,832	△36.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △941百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 3,769百万円(△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	3.39	—
2019年12月期第3四半期	39.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	105,572	44,031	40.6
2019年12月期	109,813	45,405	40.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 42,906百万円 2019年12月期 44,240百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	3.50	—	3.50	7.00
2020年12月期	—	1.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において、期末日を配当基準日として定めておりますが、現時点においては当該基準日における配当予想額は未定であります。

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△16.6	1,500	△76.7	2,400	△67.4	1,100	△78.9	11.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 3 Q	96,292,401株	2019年12月期	96,292,401株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	165,198株	2019年12月期	164,996株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 3 Q	96,127,289株	2019年12月期 3 Q	96,107,289株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響から引き続き低迷したものの、回復の傾向がみられるようになりました。しかしながら、世界経済においては、生産や投資が回復傾向にある中国を除き、移動制限や都市封鎖などの影響から景気は予断を許さない状況が継続しました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は、第3四半期までの累計ベースで前年同期比20%を超えるマイナスとなりましたが、第3四半期の減少幅は第2四半期より縮小しております。アセアンにおいても、3か国合計の自動車生産台数は第3四半期までの累計ベースで前年同期比40%を超える減少となり、特にインドネシアは第2四半期に続き第3四半期も60%を超える減少になったものの、マレーシアとタイでは回復傾向がみられました。また、中国の自動車生産台数は第2四半期から回復してきており、第3四半期では前年同期比では増加となりました。

このような環境の下、当第3四半期は第2四半期と比べ大幅な利益水準の改善がみられました。当第3四半期連結累計期間においては、海外子会社（アセアン3社と中国1社）は4社合計で減収となり営業赤字を余儀なくされましたが、主力の国内では売上の減少幅が縮小したことや経費の変動費化を図った効果などから主力の国内で営業黒字額が拡大しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の連結ベースで営業黒字に転換し、売上高は79,388百万円(前年同期比20.8%減)、営業利益は450百万円(前年同期比91.8%減)、経常利益は1,191百万円(前年同期比78.9%減)となりました。また、収支構造改革を図るため、国内外において早期退職制度を導入し特別損失として事業構造改善費用568百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は325百万円(前年同期比91.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自動車部品事業

主力の国内については国内自動車生産台数に比べ売上高の減少は小幅に留まり、アセアンにおいてもタイ子会社における新規車種の立ち上げなどもあり、売上高の減少はアセアンの自動車生産台数の減少割合よりも良好な結果となりました。

海外子会社（アセアン3社と中国1社）は4社合計で減収となり営業赤字となりましたが今は赤字幅が減少しております。主力の国内は厚木新工場への移転に伴うコスト増などはあったものの、売上の減少幅が縮小したことや経費の変動費化を図った効果などから営業黒字額が拡大しました。その結果、売上高は74,060百万円(前年同期比21.2%減)、営業利益は411百万円(前年同期比92.5%減)と営業黒字に転換いたしました。

## ② 用品事業

用品事業におきましては、新型コロナウイルスの影響からアフターマーケットの売上が減少したことなどから売上高は5,536百万円(前年同期比12.2%減)となりましたが、経費削減や第1四半期における一過性の収益計上影響などにより黒字に転換し、営業利益は103百万円(前年同期比31.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は105,572百万円となり、前連結会計年度末比で4,241百万円の減少となりました。主な要因は、設備投資等により有形固定資産が全体で3,002百万円増加しましたが、現金及び預金が2,956百万円、受取手形及び売掛金が1,446百万円それぞれ減少したこと等を主因として流動資産が全体で6,420百万円減少したこと等によるものであります。

負債は61,540百万円となり、前連結会計年度末比で2,867百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が6,578百万円減少した一方で、短期借入金が増加した3,261百万円増加したこと等であります。

純資産は44,031百万円となり、前連結会計年度末比で1,374百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現状、世界的には欧州で新型コロナウイルスの感染が再拡大に向かうなど景気に不確実な状況がみられる一方で、日本経済は徐々に回復の傾向がみられるようになってきました。日本の自動車生産台数についても減少幅が縮小するなど下げ止まりの傾向がみられることや当社の足元の収支状況なども勘案し、以下の通り2020年12月期の通期業績予想を以下の通り上方修正することと致しました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	110,000	1,000	800	400	4.16
今回修正予想 (B)	111,000	1,500	2,400	1,100	11.44
増減額 (B-A)	1,000	500	1,600	700	
増減率 (%)	0.9	50.0	200.0	175.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	133,053	6,440	7,363	5,214	54.26

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,196	5,240
受取手形及び売掛金	20,118	18,672
電子記録債権	1,541	1,675
商品及び製品	4,878	4,722
仕掛品	647	611
原材料及び貯蔵品	3,795	3,211
その他	7,166	5,770
貸倒引当金	△89	△69
流動資産合計	46,255	39,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,351	12,796
機械装置及び運搬具（純額）	13,823	15,421
工具、器具及び備品（純額）	5,049	4,858
土地	3,398	3,366
リース資産（純額）	1,551	936
建設仮勘定	6,587	8,383
有形固定資産合計	42,760	45,762
無形固定資産		
のれん	135	—
その他	1,151	1,125
無形固定資産合計	1,287	1,125
投資その他の資産		
投資有価証券	5,042	3,122
長期貸付金	909	834
繰延税金資産	3,956	4,520
その他	9,609	10,380
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	19,510	18,849
固定資産合計	63,558	65,737
資産合計	109,813	105,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,549	22,971
短期借入金	1,012	4,274
1年内返済予定の長期借入金	1,129	2,045
リース債務	730	163
未払法人税等	1,080	825
未払費用	3,525	3,987
賞与引当金	1,004	1,205
役員賞与引当金	25	60
製品保証引当金	1,739	1,511
事業構造改善引当金	—	510
その他	6,023	6,903
流動負債合計	45,821	44,459
固定負債		
長期借入金	8,974	7,303
リース債務	490	757
繰延税金負債	182	129
退職給付に係る負債	8,718	8,668
資産除去債務	170	151
環境対策引当金	8	8
その他	40	61
固定負債合計	18,586	17,081
負債合計	64,407	61,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,986	8,986
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	34,267	34,160
自己株式	△45	△45
株主資本合計	45,713	45,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,899	965
為替換算調整勘定	△2,905	△3,290
退職給付に係る調整累計額	△467	△375
その他の包括利益累計額合計	△1,473	△2,700
非支配株主持分	1,165	1,125
純資産合計	45,405	44,031
負債純資産合計	109,813	105,572

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	100,296	79,388
売上原価	79,105	64,411
売上総利益	21,191	14,977
販売費及び一般管理費	15,670	14,527
営業利益	5,520	450
営業外収益		
受取利息	59	43
受取配当金	147	128
投資有価証券売却益	—	675
持分法による投資利益	282	177
その他	88	53
営業外収益合計	578	1,078
営業外費用		
支払利息	126	96
支払手数料	22	1
為替差損	252	182
その他	56	55
営業外費用合計	458	337
経常利益	5,640	1,191
特別利益		
固定資産処分益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	176	48
事業構造改善費用	—	568
特別損失合計	176	616
税金等調整前四半期純利益	5,464	574
法人税等	1,601	268
四半期純利益	3,862	306
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	30	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,832	325



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,862	306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	△934
為替換算調整勘定	△151	△367
退職給付に係る調整額	102	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△384	△37
その他の包括利益合計	△93	△1,247
四半期包括利益	3,769	△941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,754	△901
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△39

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結結果計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	94,034	5,404	99,438	857	100,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	900	903	412	1,315
計	94,037	6,305	100,342	1,269	101,612
セグメント利益又は損失(△)	5,476	78	5,554	△52	5,502

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,554
「その他」の区分の損失	△52
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	5,520

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,058	4,701	78,760	628	79,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	835	836	643	1,479
計	74,060	5,536	79,597	1,271	80,868
セグメント利益又は損失(△)	411	103	514	△90	423

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	514
「その他」の区分の損失	△90
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	450